



## 下半期の注目調査テーマを、発表いたします！ 2025年下半期 SVPリサーチテーマ・トップ10

2025年下半期を振り返りながら、SVPジャパンのクイックリサーチでご依頼いただいた「調査テーマ・トップ10」を発表いたします。

### ①政治

2025年下半期の日本政治は、少数与党体制が続くなかで、政権の移行と政治構図の変化が重なった時期となりました。7月から9月にかけては、石破政権のもとで物価高対策や社会保障、エネルギー政策等を巡る与野党協議が続いたものの、合意形成を重視する政権運営が政策決定の遅れを招き、先行きの不透明感が意識されました。こうした流れを受け、10月に発足した高市早苗内閣は、日本で初めての女性総理による内閣として注目を集めると同時に、公明党の連立離脱を背景に日本維新の会との政策協議を進めるなど、新たな枠組みのもとで政権運営を本格化させました。物価高対策やエネルギー安全保障を軸に政策の再整理に着手する一方、外交・安全保障面では、米国の通商政策を巡る動きが続くなか、日本の台湾有事への言及を受けて日中関係の緊張がみられるなど、局面によっては緊張が高まる動きもみられました。

### ②経済

2025年下半期の日本経済は、物価高と外部環境の不透明感が続くなか、回復期待と成長の鈍さが交錯する展開となりました。実質GDPは4～6月期に小幅なプラス成長を維持したものの、7～9月期は内閣府の速報値でマイナス成長となり、景気の停滞感が意識されました。個人消費では賃上げが一定の下支えとなる一方、食料品やエネルギー価格の高止まりが家計を圧迫し、節約志向が根強く残りました。輸出面では、世界経済の減速に加え、トランプ米政権による関税政策を巡る動きが続く、製造業を中心に慎重姿勢が強まりました。国内では、政策金利の引き上げによる金融環境の変化も意識されるなか、持続的な成長に向けては、実質賃金の改善と内需の底上げが引き続き課題となっています。

### ③社会

2025年下半期の社会は、万博後の熱気が日常へと移行する一方で、AIの進展を背景に生活者の価値観や不安がより可視化された局面が多く見られました。大阪・関西万博を契機に高まったAIや医療・ヘルスケア分野への関心は、企業や自治体の取り組みが実装段階へ進むなかで、日常生活にも浸透しつつあります。一方で、生成AIによる偽動画や真偽不明の情報が拡散しやすくなり、SNS上では「大災害予言」が話題となるなど、情報環境の変化が人々の心理や行動に影響を及ぼす場面も見られました。物価高を背景とした節約志向と選別消費が続くなか、少子高齢化や人手不足といった構造的課題も重なり、人とテクノロジーの関係性や社会の在り方が現実的なテーマとして意識されました。

上記関連情報に関する調査をご希望の際は、当社までご相談ください。SVPにご依頼いただきました、リサーチテーマの「トップ10」について、次ページの通り、ご案内いたします。



## 2025年下半期 SVPクイックリサーチテーマ・トップ10

順位	調査テーマ
1位	<b>PFASの処理・分解・代替技術動向、主要プレイヤー</b> 2021年以降着実に依頼件数が伸びているテーマです。なお、初期は「規制内容」「業界対応」といったテーマがよく見られましたが、近年では「処理技術やそのプレイヤー」など、より踏み込んだ内容が増えてきています。この分野の調査資料も発行が増えてきおり、SVPでも購入、活用しています。
2位	<b>国内外競合メーカーの脱炭素取り組み事例</b> 特に、農業機械、建設機械など、機械メーカーの取り組み事例の依頼が多く見られました。事例の収集は、国内外の記事を収録する商用データベースを使い、キーワードや各種フィルター機能を使って、できるだけ網羅的に調査するようにしています。
3位	<b>全固体電池向け材料の開発動向、主要プレイヤー</b> 継続的にご依頼の多いテーマですが、最近は実用化に向けた、材料開発に関するご依頼が増えてきました。SVPでは、国内外の専門誌掲載記事、論文、特許を、様々なツールを用いて調査することが可能です。二次利用が可能となるよう、専門業者を通じた記事の取得も、代行しています。
4位	<b>指定条件に合致する企業のリストアップ</b> 営業先や業務委託先、材料サプライヤー等の探索のため、国内外の企業リスト作成の依頼は根強い需要があります。生成AIによる調査では、網羅性が高い調査が難しく、ハルシネーションも起こりやすい分野です。SVPでは、各種商用データベースを活用するなど、様々なアプローチで、企業リストを作成しています。企業に対する問い合わせも、代行しています。
5位	<b>データセンター関連技術調査（構成部材、空調、冷却、断熱など）</b> インフラ点検、農業、防災、物流など多様な分野で産業用ドローンの導入が進んでいます。AI・センサー技術の進化により運用の自動化や安全性が向上し、水中型も積極導入。省人化・コスト削減、業務効率化ニーズから、今後一層の普及が期待されており、調査依頼が増えています。
6位	<b>ASEAN主要国の消費財（食品、化粧品、日用品など）市場調査</b>
7位	<b>低誘電材料の市場、開発動向</b>
8位	<b>国内外未上場企業の信用調査、財務情報の提供</b>
9位	<b>3Dプリンター、材料、3Dプリンティング技術を用いた製造品の市場調査</b>
10位	<b>指定化学品のサプライヤー、価格調査</b>

弊社サービスの詳細等につきましては、左下のボタンより、ご参照・お問い合わせください。



1分でわかる

# SVP会員制 ビジネス情報サービス



# 1.ビジネス情報収集における環境の変化

環境の変化が激しく、将来の予測が非常に困難な時代に入

## 変化①

社会環境の変化



- ✓戦争の勃発
- ✓新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)の流行
- ✓気候変動



## 変化②

ビジネス環境の  
変化



- ✓テクノロジーの進化
- ✓グローバル化
- ✓新世代の台頭
- ✓破壊的企業の躍進



組織的な課題に直面

## 2.企業が直面している3つの課題

これまで以上に、迅速で的確な情報収集・分析能力が求められています

1

### 幅広いビジネス 情報のアクセス

幅広い事象に関して、  
スピーディーにアクセスできる  
環境の整備



2

### 質の高い情報の獲得 (重要領域での質の担保)

信頼できる上質な  
ビジネス情報を収集できる  
環境の構築



3

### 成長が期待される 新市場の動向把握

事業機会の可能性がある全ての  
市場や企業動向を認識する  
ケイパビリティの有無



### 3.当社サービスが提供する価値



ビジネス情報に関する皆さまの課題を当社が解決いたします！

#### SVP会員サービス



##### 解決① クイックリサーチ

I.

膨大なビジネス公開情報へアクセスし、スピーディーに最適な情報を提供

##### 解決② プロジェクトリサーチ

II.

カスタム調査を通じて、質の高いビジネス情報と分析アウトプットを提供

##### 解決③ SVPナレッジ

III.

当社が定義する、メガトレンドや注目市場の動向予測レポートを提供

## 4. サービス一覧



年間契約で3つのサービスをご提供します



### I. クイックリサーチ

#### 活用シーン

- ・日々のリサーチ作業をアウトソースして、分析や戦略立案など付加価値業務に注力したい。
- ・ニーズに合ったビジネス情報を、スピーディーにわかりやすくまとめて提供して欲しい。

#### 特徴

- ✓幅広いビジネス公開情報の活用
- ✓プロのリサーチャーによるニーズ把握と最大2時間の調査
- ✓わかりやすくまとめたレポートでご報告

**納期** 最短2日営業日以内

### III. SVPナレッジ

#### 活用シーン

- ・メガトレンドを中心とした、将来、事業に影響を与える環境要素は何か知りたい。
- ・①Z世代、②サステナビリティ、③テクノロジー、④新興国を含む海外市場、⑤破壊的企業の動向を把握したい。

#### 内容

- ✓SVPメールマガジン
- ✓SVPインサイト
- ✓SVP注目市場分析
- ✓SVPトレンド調査

**配信頻度** 月1回以上

### II. プロジェクトリサーチ

#### 活用シーン

- ・公開情報では公表されていない、市場や業界、企業、消費者の情報収集がしたい。
- ・自社の事業領域に関する、質が高く、ニーズに即した情報を入手して、ビジネスに即活用したい。

#### 特徴

- ✓広範なカスタム調査・分析
- ✓デスクリサーチ
- ✓ヒアリング調査
- ✓Webアンケート調査

**納期** 調査内容に応じて決定

## 5.導入実績



年間調査実施数  
約15,000件



商用DBシステム利用  
20システム



国内外企業財務情報  
4,000万社以上



SVPネットワーク  
世界40カ国の広がり

## 日本の売上高トップ100社中7割の企業でのご利用実績 導入企業600社以上







## —SVP JAPANのサービスについて—

2営業日以内に調査結果をご報告

### クイックリサーチ

[詳しくはこちら](#)

カスタムメイドのリサーチサービス

### プロジェクトリサーチ

[詳しくはこちら](#)



## —各種お問い合わせ—

### 資料ダウンロード

[こちらをクリック](#)



### お問い合わせ

[こちらをクリック](#)



s'il vous plaît  
**SVP JAPAN**  
株式会社SVPジャパン

まずはお電話でもお気軽にお問い合わせください。

TEL:03-3249-0771

